

## 「国有林探訪スタディウォーク」を開催しました。

### 第1回 国有林を学ぶ

#### 「国有林に関する講演会」



平成23年7月10日、静岡県浜松市中区にあるクリエート浜松において、「国有林探訪スタディウォーク」(全4回実施予定)の第1回目となる「国有林に関する講演会」を実施しました。

このイベントは国際森林年を記念して、“世界遺産の会”(浜松市内の任意団体)が企画・主催し、

当署が後援するというかたちで実施しています。はじめに国有林について知っていただくために講演会を行い、その後当署が管理する奥浜名(7/29実施)、春野、三ヶ日の国有林を散策する予定です。

今回は第1回目となる講演会。

当署の職員が講師となり、国有林の業務についてや日本の森林の現状について、今年世界遺産に登録された小笠原諸島について等のお話をさせていただきました。質疑応答では、参加者の方々より様々な質問や意見を聞くことができ、とてもよい機会になりました。



※今回のウォーキングルートに記した地図を作成しました。歩道に接している森林を構成する木々の樹種や林齢などがわかるようになっており、山歩きが一層おもしろいものになると思います。HPからもダウンロードできますので、ぜひ活用ください!

今後は12月に「北遠の森林を歩く」(浜松市天竜区春野町)、来年3月に「保護林散策」(浜松市北区三ヶ日町)を実施する予定です。

### 第2回 国有林にふれる

#### 「奥浜名の森林を歩く」

平成23年7月29日、浜松市北区引佐町・三ヶ日町の奥浜名自然休養林(レクリエーションの森)において、「国有林探訪スタディウォーク」の第2回目となる「奥浜名の森林を歩く」を開催しました。18名の参加者と当署職員3名(説明員)で、奥浜名自然歩道の細江コース(風越峠～富幕山山頂)と只木コース(富幕山山頂～幡教寺跡)を散策し、その後H21年に台風被害を受けた箇所の見学を行いました。



森林官の説明に耳を傾ける参加者の方々。



奥浜名自然歩道は傾斜もきつなく、歩きやすい道が続いています。

森林の解説や、植物観察をしながら約2時間のウォーキングを楽しみ、富幕山頂上に到着! 富幕山の頂上からは、浜名湖や浜松市街を望むことができます。この日は曇り空だったので少し霞んでいましたが、気持ちの良い空気を吸いながらのお昼ごはんの時間となりました。

富幕山山頂の看板付近で参加者全員で記念撮影をしました。



その後只木コースを下り、バスに乗って台風被害跡地の見学に向かいました。45年生のヒノキ林だったこの場所は、H21年10月に台風被害を受け多くの木が倒れたため、倒木処理を行い、今後植樹を実施する予定です。倒れて斜めになっている木や、根株が浮き上がっている木々を見て、自然災害の恐ろしさを知っていただきました。

台風被害跡地の現状



ヤマシロギク



キンムズヒキ



実をつけているハナイカダ

ウォーキング中に  
見つけた植物

